

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立立川高等学校定時制

教科・科目	家庭科・家庭基礎	2単位	対象学年・組	3年A・B組
教科書	新家庭基礎 パートナーシップでつくる未来	教科担任	片岡知子・都築洋子	

1. 目標 食物・被服に関する基礎的な知識や技術を習得させる。
2. 学習の到達目標 健康で自立した生活を送るために必要な知識や技術を、実習などを通して定着させ、実生活に応用させる。

### 3. 学習内容と学習上の留意点

	予定授業時数	学 習 内 容	学 習 上 の 留 意 点
1 学 期	24 時間	食生活をつくる ・自分の食生活の見直しと日本の食卓の課題 ・栄養と食品のかかわり ・食品の選び方と安全 ・食事の計画と調理 ・これからの食生活	高校生の食生活は乱れていることが多いので3食を規則的にとること、朝食の重要性を理解させる。 調理実習では安全に考慮し、和洋中の基本料理作り、自立に役立つように指導する。
2 学 期	26 時間	衣生活をつくる ・人と衣服のかかわり ・ライフステージと衣服 ・衣服の機能 ・衣服の素材の種類と特徴 ・衣生活の管理 ・衣服の手入れ	高校生はファストファッションを購入することが多いので使い捨てのデメリットを伝え、衣服を大切に扱う方法を伝える。 被服実習では手縫いの基礎を身に付けさせ自分で衣服の直しができるようにする。
3 学 期	20 時間	・衣生活の資源・環境 ・安全な衣生活 ・衣服の形・デザイン	衣服の素材について学び、身に着ける素材によって着心地、被服気候が違うことを理解させる。ユニバーサルデザインや障がい者のための衣服についての理解を深める。

### 4. 学習者への注意

- ・遅刻・欠席・早退をしないように注意する。
- ・授業中に取り組んだプリントなどを必ず提出する。
- ・教科書を必ず持ってくる。

### 5. 評価の観点・方法

- ・授業・実習の態度と成果
  - ・定期考査
  - ・提出物の内容と提出状況
  - ・遅刻・欠席・早退・忘れ物
  - ・発表
- 上記を総合的に判断し、評価する。